

関西広域連合  
関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業  
第2期情報発信戦略(2025-2029)



## 関西広域連合 情報発信戦略の概要

第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市の選定機会を活かし、関西が持つディープテックスタートアップ※1を生み出すポテンシャルの高さを訴求し、世界における関西のプレゼンスを高めていく

### 情報発信戦略の3本柱

大阪・京都・ひょうご神戸  
コンソーシアム※1

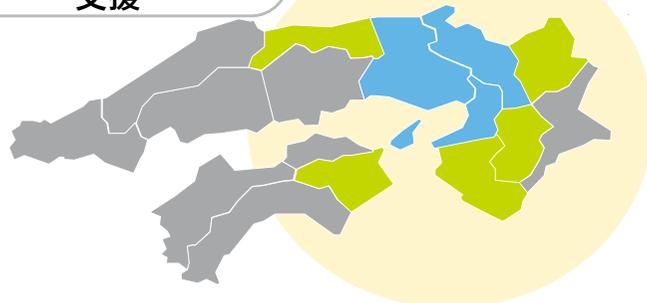
グローバル拠点都市形成  
の戦略立案・実行

構成府県市

各都市独自の取組による  
スタートアップ創出・成長  
支援

関西広域連合

関西全域の情報収集・  
一元的な発信の役割を担う



関西には世界で注目される大学、研究機関、企業が集積

1

「Deeptech Frontier Kansai※2」のブランドを用いた支援  
活動、発信の強化

2

域内のスタートアップ及び強み・ポテンシャルに関する  
情報収集・整理

3

海外データベース等の活用を通じた海外認知のための  
情報発信強化

Global Startup Ecosystem Ranking(GSER)※3の維持・向上と、関西がディープテック・スタートアップの世界的な拠点であることの認知、向上をめざす

# 2021-2024年度の情報発信戦略の振り返り

同経済規模の都市と比較すると、関西の経済規模に比してランキングが低く、関西の取り組み成果や実績が国際的に十分に認知されておらず、情報発信が不足している可能性が考えられる

## 前期情報発信戦略の振り返り

## 関西と他地域のスタートアップ・エコシステムのランキング

### 主な取り組み

- 国内外スタートアップデータベース登録
- 関西スタートアップエコシステムのHPや、国内のスタートアップイベントでの情報発信 等

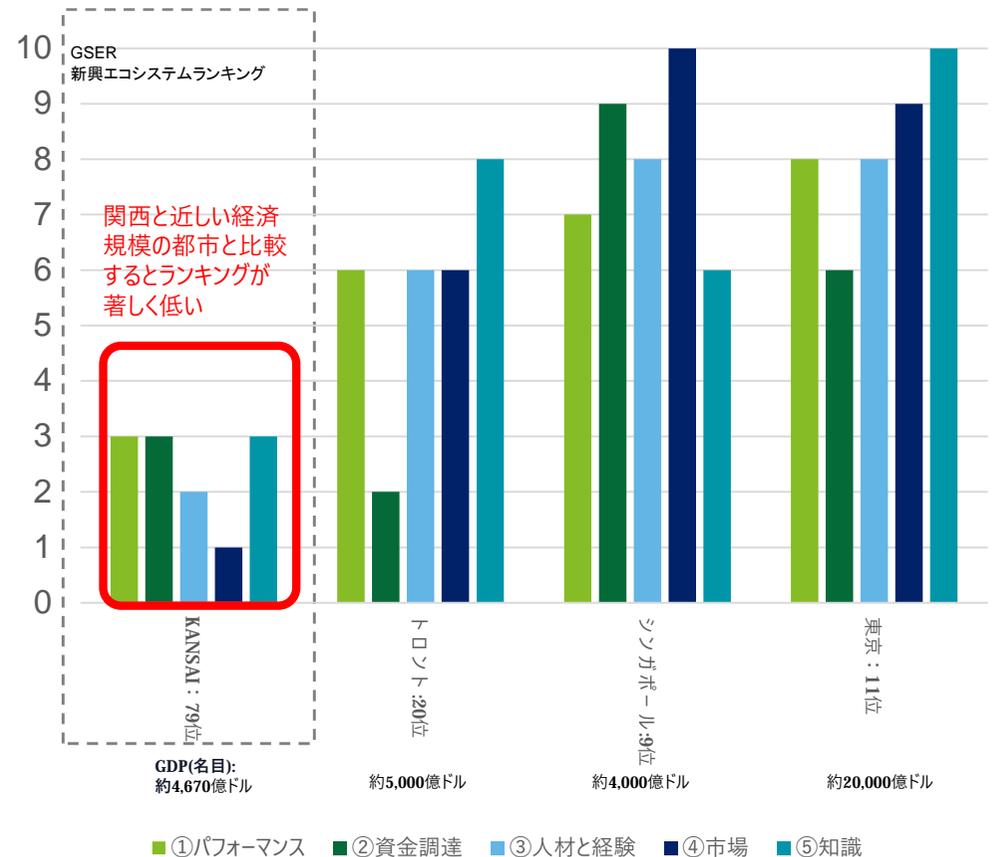
### 主な成果

- エコシステムの価値向上
  - GSER 新興エコシステムランキング向上
- |       |         |       |     |
|-------|---------|-------|-----|
| 2023年 | 26.8億ドル | 2023年 | 99位 |
| 2024年 | 32.2億ドル | 2024年 | 84位 |
| 2025年 | 32.3億ドル | 2025年 | 79位 |

### 情報発信の主な課題

- 同経済規模の都市に比べて、関西のGSERのランキングは著しく低い（右図）。これは、関西の取り組み成果や実績が国際的に広く知られておらず、実力を十分に評価されていない可能性がある

GSERランキング30位以内かつ、経済規模が同程度の都市および東京との比較



## 2021-2024年度の情報発信戦略の振り返り

前期の情報発信戦略のKGIであるGSERの評価項目を分析すると、主に、パフォーマンス、資金調達、人材と経験、市場、知識、AIの観点で評価がなされている。

### GSERの評価項目と、予想される主な評価内容

<p><b>パフォーマンス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5,000万ドル超および10億ドル超Exit<sup>※6</sup>件数、Exit数の成長率</li> <li>■ Exit<sup>※5</sup>評価額とスタートアップ評価額合計</li> <li>■ エコシステム内で成功したスタートアップの数</li> <li>■ (アーリー、レイター<sup>※6</sup>) アクティブなユニコーン<sup>※7</sup>企業数</li> </ul>	<p><b>市場</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 評価額10億ドル以上のスタートアップ数とGDP比率</li> <li>■ 5,000万ドル超のExit件数とGDPの比率、</li> <li>■ 5,000万ドル超のExit件数とシリーズA<sup>※9</sup>資金調達額比率</li> <li>■ 国のGDPの対数値</li> <li>■ 知的財産 (IP) 資産の商業化までの平均日数</li> <li>■ 海外拠点を持つ企業の比率・数</li> <li>■ シリーズAラウンドにおける国際的投資家数</li> </ul>
<p><b>資金調達</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アーリー期の資金調達額とその成長</li> <li>■ 地元投資家の数</li> <li>■ 投資家の経験 (投資年数の平均とExit比率)</li> <li>■ 活動レベル (投資家の割合や新規投資家数)</li> </ul>	<p><b>知識</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エコシステム内で生み出された特許の件数、その技術の潜在的価値</li> </ul>
<p><b>人材と経験</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テック人材 (Tech Talent)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GitHub<sup>※8</sup>上のトップ開発者の数と密度、英語力、Exit実績</li> <li>・ ソフトウェアエンジニアの平均給与によるコスト効率</li> </ul> </li> <li>■ ライフサイエンス人材 (Life Sciences Talent)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ STEM (科学・技術・工学・数学) 分野の学生数・卒業生数</li> <li>・ ライフサイエンス分野に特化した大学・学位プログラムの数</li> <li>・ 地元大学のライフサイエンス分野における教育と研究の質</li> </ul> </li> <li>■ スケールアップ経験、スタートアップ経験</li> </ul>	<p><b>AI (2025年より追加)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テクノロジースタートアップに対する、AI&amp;ビッグデータスタートアップの割合</li> <li>■ テクノロジースタートアップに対する、AIネイティブスタートアップの割合</li> <li>■ 全テクノロジー分野のベンチャーキャピタル資金調達額に対する、AIネイティブ分野のベンチャーキャピタル資金調達額の割合</li> </ul>

# 2021-2024年度の情報発信戦略の振り返り

GSERの評価項目から関西の課題を分析すると、「グローバル拠点都市としてエコシステムの活動量と実績を高めること」と、「関西広域連合として域外への発信力と認知を高めること」という2つの対策軸が導き出される。

## ■GSERの評価指標に対するKansaiの主な特徴と課題

	関西の主な課題	解決の方向性
パフォーマンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>Exit件数・規模ともに限定的であり、エコシステム成長サイクルが十分に回っていない</li> </ul>	<p><b>発信力強化</b> 域内の活動や、ポテンシャルを積極的に発信</p> <p><b>拠点都市・構成府県市として</b> <b>関西広域連合として</b></p> <p><b>活動量増</b> スタートアップの創出・成長支援等、エコシステムの更なる活性化に向けた活動を推進</p>
資金調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>関西地域のスタートアップ・エコシステムが生み出した経済的インパクト（\$3.22B）、アーリーステージ資金調達額（\$124M）は、ランキング30位以内の都市と比較して大きく劣後しており、資金調達力の弱さが見える</li> <li>ディープテックスタートアップの資金調達額平均・中央値も東京圏や海外主要都市と比べて低い水準にとどまっている</li> <li>関西には「リードVC（複数の出資元を取りまとめる）」が少なく、東京の著名投資家が大阪に集まるイベントも少ない投資家ネットワークが不足</li> </ul>	
人材と経験	<ul style="list-style-type: none"> <li>関西は大学や研究機関が集積し、優秀な人材が多いもののスタートアップの数が少なく、その経験や事業のスケールアップの経験を持つ人材が不足</li> </ul>	
市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>GDPに対するユニコーンや大型Exitの比率が低く、地域経済へのインパクトが限定的</li> </ul>	
知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的にも注目される特許や研究成果は存在するが、スタートアップエコシステム内での、活用は不十分。</li> </ul>	
AI (2025年より追加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI&amp;ビッグデータスタートアップ、AIネイティブスタートアップが少なく、域内の資金調達額における同分野の割合が少ない</li> </ul>	

## 第2期情報発信戦略の方針

本戦略では、引き続きGSERの維持・向上をめざし、

- ① DeepTech Frontier Kansaiのブランド醸成と発信、
- ② ポータルサイトでの域内情報の収集・整理・発信、
- ③ 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化、を柱とする

### 現状

- 関西は大学や研究機関の集積や、産学官の連携等、エコシステム環境も整備されており、今後の成長ポテンシャルは十分に期待ができる
- 1期情報発信戦略、拠点都市の選定、構成府県市の取り組みを通じ、GSERのランキング向上等、成果は出始めてきている
- 一方で、同経済規模の都市と比較するとスタートアップの数およびユニコーン企業数が少なく、GSERのランキングも低い

関西が強みとするディープテックを軸に、域内の活動を強化するとともに、そのポテンシャル、活動、成果について、世界に対して効果的な発信を行うことでランキングの維持向上が期待できる。

### 戦略方針

- 1 「Deeptech Frontier Kansai」のブランドを用いた支援活動、発信の強化
- 2 域内のスタートアップ及び強み・ポテンシャルに関する情報収集・整理
- 3 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

KGI

Global Startup Ecosystem  
Ranking の維持・向上

KPI(最終年度時点)

データベース  
登録数  
累計700件

国内外への  
発信数  
(SNS、プレスリリース)  
年間120件

構成府県市が一体となった  
イベント開催数  
年間2件

- 1 「DeepTech Frontier Kansai」のブランドを用いた活動の機運醸成
- 2 域内のスタートアップ及び強み・ノウハウを持つ企業に関する情報収集・整理
- 3 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

# 「DeepTech Frontier Kansai」のブランドを用いた支援活動、発信の強化

関西広域連合構成府県市、グローバル拠点都市の活動と連携し、「DeepTech Frontier Kansai」の統一ブランドのもと域内のディープテックの支援活動と発信を強化



DeepTech Frontier  
Kansai

優れた研究シーズを持つ大学・研究機関や産業拠点が集積する関西は、世界的に注目されるディープテック分野の成長に大きな可能性を秘めた地域です。

- ◎ 特に地球的規模の課題解決につながる有力先端ディープテック分野が多数
  - ・ バイオ・ライフサイエンス ▶ 再生医療、創薬、機器メーカーなど
  - ・ グリーンテック ▶ 核融合、再生可能エネルギー、炭素回収など
  - ・ デジタル ▶ AI・Web3.0、量子コンピュータ、ロボティクスなど

・ 関西広域連合において国内外の様々なリソースの集積を促す「DeepTech Frontier Kansai」のイベントの実施



・ 構成府県市において「DeepTech Frontier Kansai」のキャッチコピーを用いた域内の支援活動の強化

・ 関西広域連合のHP、SNS等を通じた「DeepTech Frontier Kansai」の情報発信強化

# 域内のディープテックの強みポテンシャルの情報の収集・整理

- 1 「DeepTech Frontier Kansai」のブランドを用いた活動の機運醸成
- 2 域内のスタートアップ及び強み・ポテンシャルに関する情報収集・整理
- 3 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

GSERの評価項目を踏まえて、国内外に発信する域内の強み、ポテンシャルの情報を、ディープテックに焦点を当て、整理する

関西のスタートアップに関する情報を発信する主なWEBサイトでの取り組み状況										
情報発信の観点	DeepTech Frontier KANSAI	Kansai Startup Mashups	KSAC ※4	KSII	起動	各都道府県市	大阪・京都・神戸3商工会議所事業	大阪スタエコ	京都スタエコ	ひょうご・神戸スタエコ
スタートアップ・エコシステムのブランディング	強化ブランドとして注力		-		強化ブランドとして注力		-	コンソの活動として域内中心にスタエコの認知向上を実施		
具体的な取り組み事例・プログラム紹介	-	京阪神支援プログラムの紹介	大学発研究シーズの紹介 GAPファンド	公的機関 産業界連携	インキュベーションプログラム	全体の中での一部の取り組みとして発信		各プログラム、イベント等を紹介		
スタートアップリソース・エコシステム	ディープテックスタートアップデータベース	エコシステムの紹介	-	イベントの案内	-				スタートアップ、エコシステムの紹介	

ディープテックスタートアップに焦点を当てて、Startup Genomeが評価項目を鑑みながらテーマカットでの情報発信を進めていく



関西広域連合  
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

発信テーマ案

グローバルイベント及びプログラム

スタートアップの成功事例

数字で見る関西  
資金調達・SU数等

大学研究シーズの魅力

地域のインフラ

支援拠点及び支援プログラムの一覧化

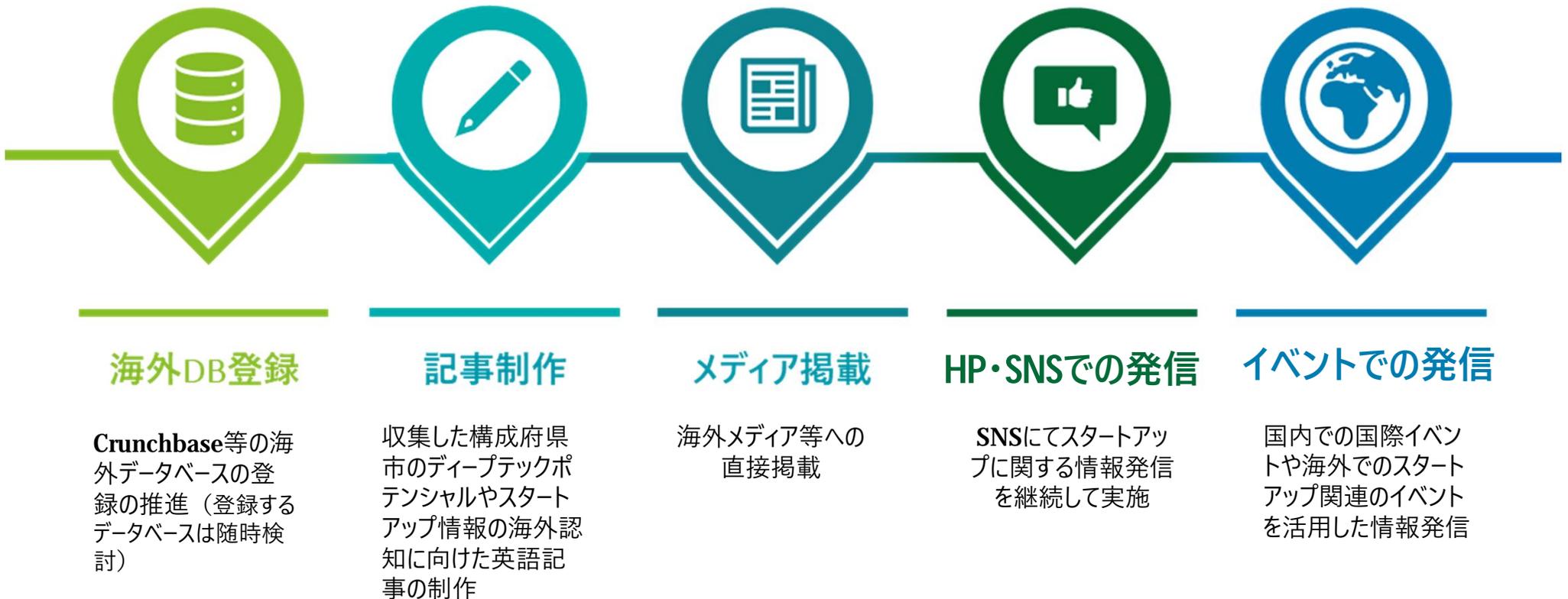
発信に向けた具体的な主なアクション

- スタートアップの評価額、資金調達実績等の情報の一元的整理と発信
- 域内の関係機関が行っている取り組みを収集し、ディープテックを強化ブランドとして整理
- 構成府県市のディープテックポテンシャルや海外展開するのスタートアップの取材、記事制作
- 知財・人材の評価項目に関わる情報収集 等

# 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

- 1 「DeepTech Frontier Kansai」のブランドを用いた活動の機運醸成
- 2 域内のスタートアップ及び強み・ポテンシャルに関する情報収集・整理
- 3 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

データベースへの情報登録、スタートアップ情報を紹介する日英文記事の作成、HP・SNS・イベント・メディアでの発信等の継続的な実施により、情報発信を強化する



## 海外DB登録

Crunchbase等の海外データベースの登録の推進（登録するデータベースは随時検討）

## 記事制作

収集した構成府県市のディープテックポテンシャルやスタートアップ情報の海外認知に向けた英語記事の制作

## メディア掲載

海外メディア等への直接掲載

## HP・SNSでの発信

SNSにてスタートアップに関する情報発信を継続して実施

## イベントでの発信

国内での国際イベントや海外でのスタートアップ関連のイベントを活用した情報発信

# 2029年度までのロードマップ

域内の関係機関からの情報収集・情報の整理、各種国際イベントとの連携した発信等を進め、域内連携の強化・情報発信力の強化を狙う

2025

2026

収 集

整 理

発 信

◆：単年度  
➢：継続（～○）

1 「Deeptech Frontier Kansai」のブランドを用いた支援活動、発信の強化

2 域内のスタートアップ及び強み・ポテンシャルに関する情報収集・整理

3 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

・新たな情報発信戦略の策定及びそれに基づく域内の情報収集  
・万博、GSEの開催機会を活かした情報発信

- ◆「第2期情報発信戦略」の策定
- ◆「Global Startup Expo(GSE)」等の国際イベントでの情報発信
- 関西広域連合HP、SNSでのDeepTech Frontier Kansaiの活動発信（～2029）

- ◆「Kansai Startup Ecosystem」のWebサイト再構築（提携サイト・掲載情報の類型化等）
- ◆運用SNSの精査・運用方針の策定

- ◆活用すべき海外メディアの選定、登録データベース等、海外認知のためのメディア・チャンネルの精査、継続的な運用方針の策定

・新たな情報発信戦略に基づく域内の情報収集、整理、発信  
・国際イベントを通じた国内外への情報発信

- ◆国内外で開催される国際イベントでの「Deeptech Frontier Kansai」の活動等の発信
- ◆関西広域連合におけるディープテックイベントの開催
- 構成府県市が開催するイベントでの発信の強化（～2029）

- ◆ディープテックに焦点をあてた情報整理
- ◆構成府県市、関係機関等と連携した発信の仕組みづくり
- GSERの評価項目に関わる域内関係機関の取組み収集（～2029）
- 各種SNSの運用、情報発信（～2029）

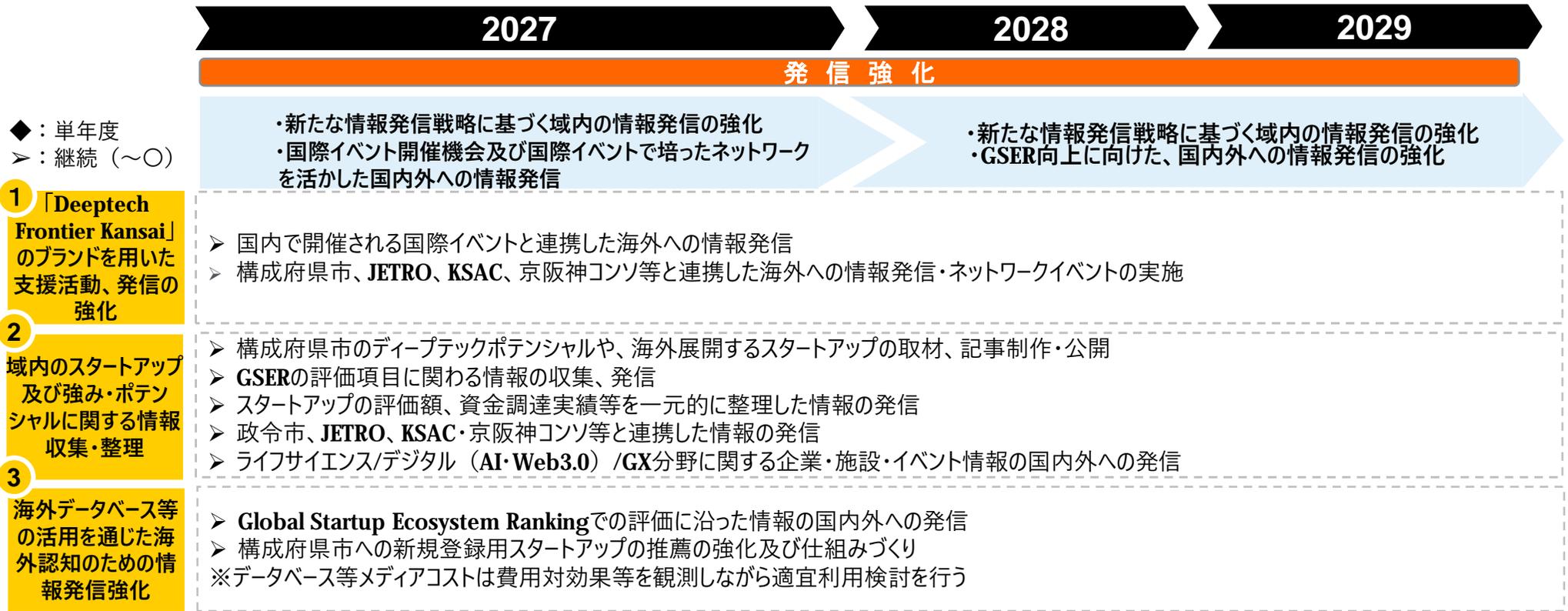
- ◆国内外で開催される国際イベントを活用した情報発信
- 海外プレスリリースの配信、海外メディア、SNSでの記事作成・発信（～2029）
- データベース登録数の増加（～2029）

K P I	データベース累計登録数	350件	400件
	年間発信件数	2件	50件
	年間イベント開催件数	2件	2件

- データベース登録数/Dealroom(<https://kansai.dealroom.co/intro>)に掲載の関西のスタートアップ掲載件数を参照。  
\*\*補足\*\*： Dealroomには設立10年以上の上場企業なども掲載されているため、精査し、掲載。
- 発信件数/関西スタートアップ・エコシステムの公式SNS(Facebook、LinkedIn等)、関西広域連合から配信したメディアリリースの合計発信件数。
- メディア掲載件数/GoogleニュースやPR TIMES、海外スタートアップ系メディアなどで「関西スタートアップ」「Kansai startup」等のキーワード検索。新聞・業界誌・Webメディアの掲載件数を集計。  
\*\*補足\*\*： 正確な公式集計は少ないため、主要団体・イベントの広報活動をベースに推定。

# 2029年度までのロードマップ

域内の関係機関からの情報収集・情報の整理、各種国際イベントとの連携した発信等を進め、域内連携の強化・情報発信力の強化を狙う



K P I	データベース 累計登録数	500件	600件	700件
	年間発信件数	75件	100件	120件
	年間イベント 開催件数	2件	2件	2件

■ データベース登録数/Dealroom(<https://kansai.dealroom.co/intro>)に掲載の関西のスタートアップ掲載件数を参照。  
 \*\*補足\*\*：Dealroomには設立10年以上の上場企業なども掲載されているため、精査し、掲載。

■ 発信件数/関西スタートアップ・エコシステムの公式SNS(Facebook、LinkedIn等)、関西広域連合から配信したメディアリリースの合計発信件数。

■ メディア掲載件数/GoogleニュースやPR TIMES、海外スタートアップ系メディアなどで「関西スタートアップ」「Kansai startup」等のキーワード検索。新聞・業界誌・Webメディアの掲載件数を集計。  
 \*\*補足\*\*：正確な公式集計は少ないため、主要団体・イベントの広報活動をベースに推定。

# 用語集

#	用語	説明
1	ディープテックスタートアップ	AI、バイオ、ロボット、量子などの先端技術、研究開発を基盤にしたスタートアップ企業で、大学や研究機関等の研究から生まれるケースが見られる
2	DeepTech Frontier Kansai	関西圏で活躍するディープテックスタートアップをブランディングし、国内外に発信するためのキャッチコピー
3	Global Startup Ecosystem Ranking(GSER)	世界中のスタートアップエコシステムを資金調達、成長性、イノベーション力などの指標で評価・ランキングするレポート
4	KSAC	関西スタートアップアカデミアコアリション：関西地域の大学や研究機関が連携し、スタートアップ創出や支援を強化するためのコンソーシアム
5	Exit	IPO（新規株式公開）やM&A（企業買収・合併）で、スタートアップや投資家が事業から利益を得ること
6	アーリー、レイター	スタートアップの成長段階を示す表現で、アーリーは、スタートアップの成長初期段階を指し、製品やサービスの開発・市場投入、初期顧客の獲得などが進められる時期。レイターは、成長が加速し、ビジネスモデルが確立した後の段階で、規模拡大や収益化、大型資金調達が行われる時期
7	ユニコーン	設立10年以内で未上場、企業価値が10億ドル以上と評価される急成長スタートアップ企業
8	GitHub	ソフトウェア開発者向けのコード共有・管理プラットフォーム
9	シリーズA	スタートアップが事業拡大や本格的な成長を目指して受ける初期の大型資金調達ラウンド



関西広域連合  
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS